

# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

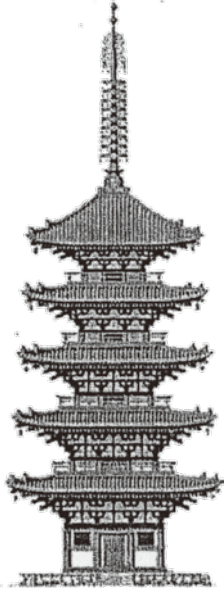
皆さん、こんにちわ。晩秋ですね。朝晩は寒い日が増えました。くれぐれもご自愛ください。昨年からの**知多四国八十八ヶ所霊場**についてお伝えしているかわら版、残る札所は二ヶ所。いよいよ結願です。

## ★烏枢沙摩明王

八十六番から八十七番に向かい、いとこですが、知多四国八十八ヶ所霊場の場合、行程上、八十八番を先に打つお遍路さんが多いようです。しかも、その道中に五番があります。つまり、八十六番、五番、八十八番、そして八十七番という順番。しかし、今回の紙上遍路では五番は四番の次に既に打ち終えています(昨年三月号)ので、八十八番に向かいます。

八十六番から東へ約四・六キロメートルで五番、そこから北へ約二・四キロメートル進むと八十八番、**瑞木山円通寺**。大府市です。

七二九年、行基菩薩が開創。七堂伽藍を備えた古刹でしたが、九三九



年(天慶の乱)と一三三三年(建武の乱)の兵火で堂宇を焼失。一三四八年、夢窓疎石が中興開山して再建。一四〇一年に現在地に移転し、今日に至っています。

寺号が「通じ」にかぶる当寺は、便秘や下の病、婦人病、安産にご利益のある「烏枢沙摩(うすさま)明王」のお札で知られています。お札を東司(便所)に南向きに祀ると、下の病に霊験があるとして信仰されています。

ご本尊 馬頭観世音菩薩

ご詠歌

慈悲深き大師の恵み有難や今日木之山に法の花咲く

## ★鷺津砦

八十八番からさらに北上、伊勢湾岸道路、JR東海道本線、新幹線を経由して進むと約三・〇キロメートル、名古屋市に入り、いよいよ最後の札所、八十七番は**鷺津山長寿寺**。「鷺頭」と聞いて「桶狭間の戦い」を連想された方は戦国史通です。

「鷺津砦」は「桶狭間の戦い」の緒戦で今川軍が陥落させた織田軍の拠点。当寺はもともと「鷺津砦」一帯にあったようです。一九七九年、「鷺津砦」周辺の公園整備に伴い、現在地に移転しました。江戸時代、大高城主・志水忠継の

母、長寿院の遺命で禅寺に改宗。その際に、寺号も長寿寺となりました。境内には、かつて名古屋広小路にあつて「夜開帳」として信仰を集めた柳薬師、住職に化けて参拝者に慕われた狐を祀る高蔵坊稲荷があり、商売繁盛にご利益があると言われています。

ご本尊 聖観世音菩薩  
ご詠歌 御仏の深き恵みに大高のななき齢も念仏の徳

## ★興正寺と遍照院

この後、高野山奥之院に見立てた**八事山興正寺**(名古屋市)や**弘法山遍照院**(知立市)に向かうお遍路さんも多いようです。

なお、遍照院は三河新四国八十八ヶ所霊場の零番札所、番外開創の古刹であり、三河三弘法のひとつ。後のふたつは、大仙山西福寺(刈谷市)、天目山密蔵寺(刈谷市)です。

## ★知多四国霊場会

昨年からお伝えしてきた

知多四国八十八ヶ所霊場の紙上遍路。皆さん、お疲れ様でした。**知多四国霊場会**の事務局は、五十番の**鶴林山安養院**(美浜町)がお務めいただいています。ベテランのお遍路さんは、先達、権中先達、中先達、権大先達、大先達、特任大先達と昇任していきます。納め札の色も、参拝回数によって変わります。最初は白、十回以上は緑、二十回以上は赤、三十回以上は銀、五十回以上は金、百回以上は錦です。

札所では、納経帳に「お印」のご朱印を押していただきますが、二回目以降は重ね押しします。何度も重ね押しをして真朱になった納経帳は、一生涯にわたって功德の証となり、不思議なご利益、不思議なご加護にあずかると信じられています。

## ★来月は総集編

本四国の紙上遍路の時と同様に、来月は知多四国八十八ヶ所霊場のご本尊、宗派等の総集編をお伝えします。乞ご期待。

知多四国八十八ヶ所霊場 Map

